

支出命令書 (一般)

市長	副市長	教育長	部長	次長	次長課長	課長補佐	係長	担当者
**	**	**	**	**		**		
会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		**	**			**		

起 票 日	令和 2 年 8 月 21 日	所 属	080100 市議会事務局
年 度	令和 2 年度	会 計	01 一般会計
予 算 区 分	0 現年度		
科 目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事 業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細 節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金 額	5,000 円	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支 払 回 数	4 回	雇 用 保 険 料	0 円	源泉徴収確認
負 担 行 為 額	600,000 円	そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	142,201 円	控 除 額 合 計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	457,799 円	請求書番号		
源泉支払内容	*****			

件 名	研究研修費 8/24~8/25 第12回全国政策研究集会2020in京都 参加費
-----	--

摘 要	
-----	--

支 払 方 法	21 現金払	支 払 希 望 日	令和2年 9月2日
住 所			
名 称	会派に属さない議員連合代表者 高橋 登		
役職等/氏名			
銀行/口座			
口座名義人		債 権 者 番 号	

領 収 氏 名	会派に属さない議員連合代表者 高橋 登	領 収 印	
---------	---------------------	-------	---

上記の金額を領収しました。 令和2年 9月2日

支 払 済

支出負担行為 確認

泉大津市 会計管理者 あて

001

負担行為番号

02-001010

伝票番号

02-007294

呼出番号

整理番号

02-000010-04



00292153

02 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和2年8月18日

泉大津市長
南 出 賢 一 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 会派に属しない議員連合
代表者名 高橋 登 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり
政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	5, 0 0 0 円		
内 訳	8/24～8/25 第12回全国政策研究集会 2020in 京都 参加費		
支 払 先	自治体議員政策情報センター虹とみどり		
予 算 科 目	研究研修費	交 付 残 額	457, 799 円
使 用 者 名	高橋 登		

全国政策研究集会 2020 in 京都

領 収 証

高橋 登 様

5,000 円

但し 政策研究集会参加費として

2020 年 8 月 24 日

自治体議員政策情報センター 虹とみどり

〒700-0971 岡山市北区野田 5-8-11 かつらぎ野田七城荘

TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724

支出命令書 (一般)

市長	副市長	教育長	部長	次長	次長補佐	課長補佐	係長	担当者
**	**	**	**	**	橋本	**		
会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
橋本	大	**	増	**		**		

起票日	令和2年8月21日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和2年度	会計	01 一般会計
科目	01 議会費	予算区分	0 現年度
目	01 議会費		
事業	040000 議会調査研究事業		
節	18 負担金、補助及び交付金		
細節	90 その他		
細々節	06 政務活動費		

金額	18,020 円	所得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	5 回	雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	600,000 円	そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	160,221 円	控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	439,779 円	請求書番号		
源泉支払内容	*****			

件名	旅費 8/24~8/25 第12回全国政策研究集会2020in京都参加
----	-------------------------------------

摘要	
----	--

支払方法	21 現金払	支払希望日	令和2年9月2日
住所			
名称	会派に属さない議員連合代表者 高橋 登		
役職等/氏名			
銀行/口座			
口座名義人	債権者番号		

領収	住所	氏名	会派に属さない議員連合代表者 高橋 登	領収印	高橋
----	----	----	---------------------	-----	----

上記の金額を領収しました。 令和2年 9月2日

支払済

令和2年 月 日
泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

001 負担行為番号

02-001010

伝票番号

呼出番号

02-007295

整理番号

02-000010-05



00292157

02 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和2年8月18日

泉大津市長
南 出 賢 一 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 会派に属しない議員連合
代表者名 高橋 登 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	18,020円		
内 訳	8/24～8/25 第12回全国政策研究集会 2020in 京都 参加旅費		
支 払 先	高橋 登		
予 算 科 目	旅費	交 付 残 額	439,779円
使 用 者 名	高橋 登		

令和2年度

出張申請書

(出張)

会派名	会派に属さない議員連合		氏名	高橋 登				
出発・帰庁年月日		出発 令和2年8月24日		帰庁 令和2年8月25日				
出張先(順路) 同志社大学志高館(京都市)								
目的及び用件 第12回全国政策研究集会 2020 in 京都に参加								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 450	円	円	円	円	円	円 450
" (大阪外環御堂筋線) 梅田 大阪		230						230
" (JR京都線) 京都	42.8	570						570
" (京都地下鉄烏丸線) 今出川		260			1泊 15,000			15,260
" 復路		1,510						1,510
(線)							計	18,020
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								

主管課用

令和2年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	会派に属さない議員連合		氏名	高橋 登				
出発・帰庁年月日		出発 令和2年8月24日		帰庁 令和2年8月25日				
出張先(順路) 同志社大学志高館(京都市)								
目的及び用件 第12回全国政策研究集会 2020 in 京都に参加								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 450	円	円	円	円	円	円
" (大阪外口御堂筋線) 梅田		230						230
大阪 (JR京都線) 京都	42.8	570						570
" (京都地下鉄烏丸線) 今出川		260			1泊 15,000			15,260
" 復路		1,510						1,510
(線)							計	18,020
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
右の金額領収いたしました。				金額	¥ 1 8 0 2 0			
令和 年 月 日				職名	会派に属さない議員連合			
泉大津市会計管理者 殿				氏名	高橋 登			



第12回

全国政策研究集会

2020 IN 京都

参加申込み
締切り
7月末

同志社大学志高館

基調講演

「自治体と危機にどう向かい合うか」

谷岡アトフさん（自治体危機対応研究会 代表・アドバイザー）

「コロナ後の社会を展望する」

谷岡アトフさん（自治体危機対応研究会 代表・アドバイザー）

分科会

I-1 「系統変動、国際交渉の進展状況と自治体での取り組み」

中野正剛さん（自治体危機対応研究会 代表・アドバイザー）

I-2 「緊急時の自治体、そして議会」

谷岡アトフさん（自治体危機対応研究会 代表・アドバイザー）

西嶋裕美さん（中央大学大学院・先端政策学専攻）

I-3 「子ども優先のまちづくり、気候変動対策」

「ユニークな兵庫県明石市政の挑戦」

明石市 市長 山本 浩二

II-1 「環境教育と自治体政策」

山本浩二さん（自治体危機対応研究会 代表・アドバイザー）

西嶋裕美さん（中央大学大学院・先端政策学専攻）

II-2 「リニアと生活交通網、公共交通の在り方を考える」

西嶋裕美さん

II-3 「森友問題から問う公文書のあり方」

木村浩二さん（自治体危機対応研究会 代表・アドバイザー）

西嶋裕美さん（中央大学大学院・先端政策学専攻）

□決 裁 ■供 覧

受 発 記 号 ・ 番 号				収受年月日	令和2年10月9日	
差 出 名		会派に属さない議員連合 高橋 登				
あ て 名		泉大津市議会議長			提出期限	
収 受 文 書 の 記 号				収受文書の日付	令和2年10月9日	
件 名		報告書				
議長		副議長	事務局長	次長	合 議	
						
主 管	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	係員		
						
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項						
日 時：令和2年8月24日（月）～25日（火） 出張先：同志社大学 烏丸キャンパス 志高館 目 的：第12回全国政策研究集会2020 in 京都に参加						

報 告 書

会派代表者

高橋 登

令和2年10月9日

泉大津市議会議長 殿

会派に属さない議員連合

出張者 高橋 登



下記により出張したので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時：令和2年8月24日（月）～25日（火）
2. 出張先：同志社大学烏丸キャンパス志高館
3. 目 的：自治体議員政策情報センターが主催する第12回全国政策研究集会 in 京都に参加させていただいた。今年の政策研究会は、コロナ禍の中での開催となり、メインテーマとして「コロナ危機そして気候危機、二つの危機を自治体から考える」をメインテーマに掲げた。新型コロナウイルスのまん延で今年は、世界的にも経験したことのない状況が続いているが、コロナ危機と共に地球温暖化の加速により気候危機を迎えている。どちらも世界レベルの環境破壊が原因と言われており、危機は立場の弱い人々に打撃を与えている。これらの危機を社会構造を変える契機に出来るのか。自治体で出来る政策、活動を京都議定書が採択されて23年目に当たる京都の地で研修させていただいた。

4. 報告内容

第12回全国政策研究集会は、コロナ禍に中での開催と言うこともあって、全国から200名を超えるウェブセミナーでの参加者と会場には、58名が参集して開催された。開催地が京都と言うこともあって、関西圏の会員はスタッフとしての参加要請があり、一般参加は、午後12時30分からの受付であったが、スタッフは、午前9時に現地集合で会場設営と受付準備が行われた。

午後1時10分前、同志社大学烏丸キャンパスは休校中でもあり、通常は学生であふれる講義教室は、ソーシャルディスタンスに十分配慮した間隔が取られた中で、上原公子（元国立市長、自治体議員政策情報センター長）から「コロナ化で、気候危機が深刻に進行する中で、アベノマスクにみられる政治不信

が広がっているが、自治体で何が今やらなければならないことか真剣に考えなければならない、自然界の力が地球を救うのであって、人間は、多様な生物の中の一つにしかすぎないことを謙虚にとらえ返すべきであり、今回の二つの危機に対して社会を問い直すチャンスにしなければならない」と開会の挨拶がなされた。

午後1時からの基調講演は、室崎益輝氏（神戸大学名誉教授）が予定されていたが、急きょ新川達郎氏（同志社大学教授）に登壇いただいた。「自治体は危機にどう向かい合うか」をテーマに危機管理の最も大切なこと（要諦）について解説、まず危機（ハザード、リスク、クライシス、ダメージ）にいかに向き合うか？と提起し、地震、豪雨、感染症に対しても普遍の原理があるとして①油断大敵、用意周到、予防医学、公衆衛生②臨機応変、拙速要諦、補填残心、自律回復を教訓に、正しく恐れる危機の認識と正しく備える危機の抑制について専門的知見を述べて頂いた。さらには、コロナ時代の災害対応として感染リスクに備えることと同時に感染リスクにとらわれすぎない事の大切さ、災害後の非難のあり方、災害時の支援のあり方、被災者自身が立ち上がっていく為の災害後の復興のあり方など具体的事例を挙げながら、危機管理の体制と心構えについて講演頂いた。

この後、会場前面にスクリーン画面が映し出され、「コロナ後の社会を展望する」と題して、谷崎テトラさん（京都芸術大学客員教授メディアプロデューサー）からリモート講演を受けた。メディアと音楽プロデューサーの視点から、世界レベルで広がるコロナ危機と気候危機は、グローバル経済がもたらした災禍である。とした上で、この危機を契機にして新しいソーシャル・コントラスト（社会契約）をつくり出さなくてはならないとして、五つの＜ポストコロナ戦略＞①必要なサイズと新たなルールづくり（社会の適正化）②未来の資源を搾取しない③本当に必要なものは何か、価値観の適正化④真の健康とは、心の健康、身体健康、社会健康⑤魂の健康—新たなルネッサンスの創造を解説、披露した。

午後4時過ぎから会場設営のための休憩を挟み、3会場（教室）に分かれて①「気候変動 国際交渉の進展状況と自治体での取り組み」伊与田昌慶さん（認定NPO法人気候ネットワーク主任研究員）②「緊急時の自治体、そして議会」福嶋浩彦さん（中央大学教授・元我孫子市長）③「子ども優先のまちづくり、気候変動対策 ユニークな兵庫県明石市政の挑戦」泉房穂さん（明石市長）の分科会が行われた。私は、市長の職責と権限をもって、職員を暴言で叱責して話題となり、再度の出直し市長選で復帰を果たした明石市の名物市長のまちづくりと手腕に興味もあり、第3分科会に参加させていただいた。人口30万都市で、市長になって10年目になるという、財政的にも安定しており、市民の

満足度が高いと紹介された後、まちづくりについての考え方、理念を語られた。まず、国を見ずに市民を見るべきと政治信条を述べ、子どもを中心に子育て施策を充実させてきた実績を強調した。現在子ども食堂は、市内44か所で運営、子どもを応援する優しいまちづくりは、未来社会に対する責任であると言い切り、職員への暴言で辞任した後に、おなかの大きくした妊婦が、市長をつかまえて、「市長は、公約した子育て施策に責任を持つべきであり、辞めることは許されない。」と訴えてきたことで、再挑戦することになったとエピソードも披露していただいた。

明石市は、福祉に手厚い施策で全国的に取り上げられる事例も多いばかりでなく、本年3月には、「気候非常事態宣言」を発するなど先進的な取り組みなど、話題性の高い市長として、注目が集まっている。

午後6時30分には、スタッフとして後片付けと整理をして2日目の研修に備えさせていただいた。

2日目は、9時からの受付であったが、8時30分に会場に参集しての準備作業となった。会場参加者は、この日も3会場（教室）に分かれての分科会①「環境教育×自治体政策」広瀬和代さん（認定NPO法人気候ネットワーク環境教育事業部長）丸谷さと子さん（環境教育コーディネーター、日本環境教育学会副会長、明石市議会議員）②「リニアと生活交通網 公共交通のあり方を考える」難波喬司さん（静岡県副知事）櫛引素夫（青森大教授）③「森友問題から問う公文書のあり方」木村真さん（豊中市議）三木由希子さん（NPO法人情報公開クリアリングハウス理事長）が行われた。私は、①の分科会に参加した。

世界的課題として、全ての生物が生存できる地球環境を守っていくために、人類が果たさねばならない役割と責任は大きい。特に子供たちへのアプローチは大きな課題である。脱炭素社会づくりのための環境教育は、欠かせない課題であり、京都市から始まった環境教育プログラム「こどもエコライフチャレンジ」や兵庫県が全公立小学校3年生を対象に展開する「環境体験事業」等の活動も広がっていることも報告された。

今後の課題としては、環境教育を指導する教職員の不足と研修を充実させていかなければならないと同時に国と各自治体には、環境教育コーディネーターを有償で雇用してほしいと要望し続けていると言う。

二日間にわたった研修であったが、初めて会議の設営や様々な形での講演、討論を経験させていただいた。この体験を今後の議会活動に行かせていただきたいと思います。

5、所 感

第12回目を迎えた全国自治体政策研究集会であったが、今回はコロナ禍の中での開催となり、例年とは違った対応が求められた。特にリモート機器の準備と点検は慣れない素人作業で何度もトラブルに見舞われたが、何とかリモート参加者に大きな迷惑をかけずに済んだことは、私にとってもホッと胸をなでおろすと同時にコロナ後の会議や研修集会の持ち方にも大きな成果と体験をさせていただいた。本市としても市民の健康と生活を守るという自治体の使命を守りながら危機管理に対応できる自治体のあり方にも大いに参考となる研修となり、今後の活動に生かしていく事を申し上げ、報告に替えさせていただきます。

以上

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	次長課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 **	担当者	入力 	財政課合議 **	検収者	

起 票 日	令和 2年 8月 31日	所 属	080100 市議会事務局
年 度	令和 2 年度	会 計	01 一般会計
予 算 区 分	0 現年度		
科 目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事 業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細 節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金 額	20,000 円	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認	
支 払 回 数	6 回	雇 用 保 険 料	0 円	源泉徴収確認	
負 担 行 為 額	600,000 円	そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認	
支出命令済額	180,221 円	控 除 額 合 計	0 円	通勤経路及び金額確認	
負担行為残額	419,779 円	請求書番号			
源泉支払内容	*****				

件 名	研究研修費 自治体議員政策情報センター虹とみどり会費
-----	----------------------------

摘 要	
-----	--

債 権 者 等	支 払 方 法	21 現金払	支 払 希 望 日	令和2年 9月10日
	住 所			
	名 称	会派に属さない議員連合代表者 高橋 登		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人		債 権 者 番 号	

領 収 氏 名	住所	領 収 印
会派に属さない議員連合代表者 高橋 登		

上記の金額を領収しました。 令和2年 9月10日

支 払 済

令和2年 9月10日
泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確 認

伝票番号

02-007575

整理番号

02-000010-06

001 負担行為番号

02-001010

呼出番号



00293186

02 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

2 年 8 月 31 日

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和2年8月26日

泉大津市長
南 出 賢 一 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 会派 泉大津市議員連合
代表者名 高橋 登 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり
政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	20,000円		
内 訳	自治体議員政策情報センター虹とみどり会費		
支 払 先	自治体議員政策情報センター虹とみどり		
予 算 科 目	研究研修費	交 付 残 額	419,779円
使 用 者 名	高橋 登		

領収証

高橋 登

様

No. _____

金額

¥ 20,000

収 入

印 紙

内 訳

現金

小切手

手 形

但・ 会費 資料代

2020年 8 月 24 日 上記正に領収いたしました

消費税額等(%)

自治体議員政策情報センター虹とみどり

〒700-0971岡山市北区野田5丁目8-11

かつらぎ野田ビル2F

TEL 086-244-7723・FAX 086-244-7724

係印